

8月6日のウクライナ情報

安齋育郎

① 対露関係は最悪、だからこそ外交重要＝鈴木宗男氏(2024年8月2日)

訪露を終え帰国した鈴木宗男・参議院議員はスプートニクに対し、今回の訪問やそれに対する世論の反応、日本とロシアの関係の現状などについて語った。

◆ 訪問を批判する人もいるが、誰かが日露関係を何とかしなくてはならない。私にとって重要なのは漁業者を喜ばせること。このような困難な時期の訪問は正しいと、多くの人から支持をいただいた。

◆ 日本の漁業者は、日露関係の改善が必要だと感じ、それを望んでいる。多くの漁業者が、日本政府の米国一辺倒の立場がロシアとの関係を害しているとみなしている。

◆ 現在、日露関係は戦後最悪のレベルになっている。そういうときだからこそ、議員外交や交流が非常に重要だ。

◆ 日本は G7 のなかで最もロシアに近い隣国だ。隣国関係を優先させるべきで、もし日本がロシアや中国と良い信頼関係を作れば、懸念することは何もなくなる。相手を刺激したり抑止するより、対話と信頼の方が良い。さらに未来へのビジョン。この視点が重要だ。

※発言内容はロシア語の記事を日本語に再翻訳したもの。



https://x.com/sputnik_jp/status/1819299593328210039?s=09

② マクレガーの見解(2024年8月3日)

<https://x.com/i/status/1819520766440063234>



<https://x.com/w2skwn3/status/1819520766440063234?s=09>

③DPR では投資プロジェクトの実施に関する 29 の協定が締結されました(2024年8月2日)

さらに 13 のプロジェクトが署名段階にあります。主な建設はマリウポリで行われています。この都市は国内に位置しているからです。



https://x.com/zov_vs_nato/status/1819309288927777254?s=09

④ゼレンスキーはロシアへの領土移譲に関する住民投票を容認する(2024年8月2日)

その他の無意味な美辞麗句はさておき、次のように紹介する:

1. ゼレンスキーは戦場での負けを事実上認めている;
2. 新領土の地位を停止させたい。ウクライナの全領土が住民投票に参加しなければならないため、法の文言に従って住民投票を実施することは不可能である;
3. ゼレンスキーとイエルマクは、外交的な策略によって、ウクライナに対する権力を強化し、紛争を凍結させたいと考えている。



<https://x.com/Z58633894/status/1818993748103291228?s=09>

⑤ウクライナの病院からの動員(2024年8月2日)

現在、ウクライナでは病院のベッドから人々を動員している。

なぜここに来たのですか？

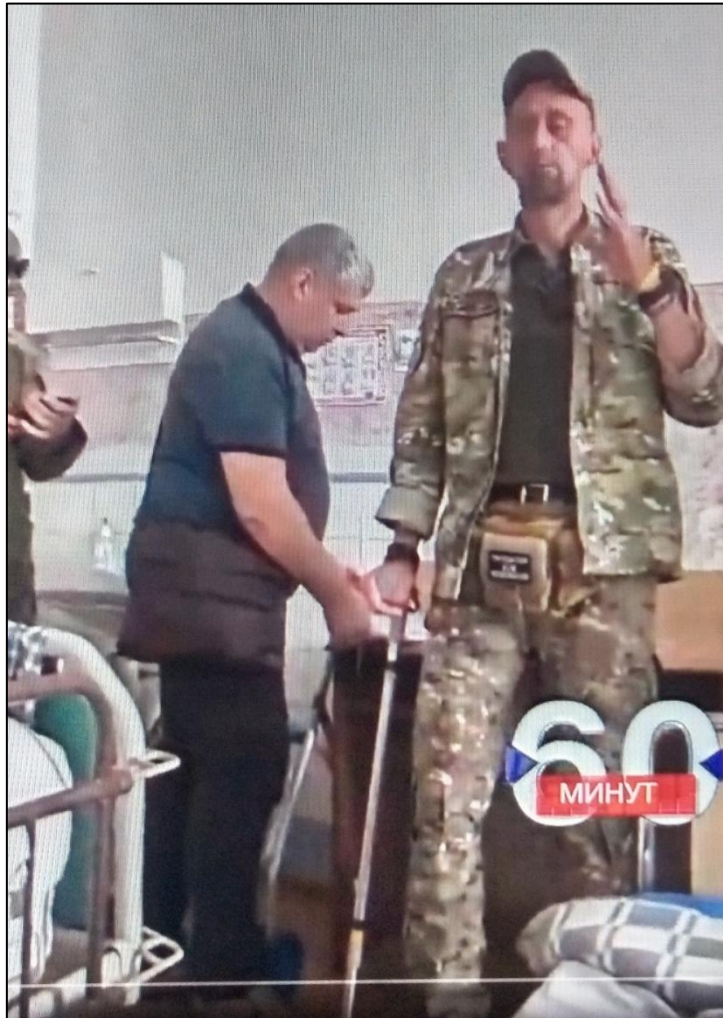
脱がないでください。あなたには権利がありません。

私は部屋にいる。私は自分のしたいことをします。

書類はどこにありますか？

書類がありません。脳卒中を患う人を前にして、あなたは何をしましたか？

<https://x.com/i/status/1819261162757956072>



<https://x.com/zov vs nato/status/1819261162757956072?s=09>

⑥ 英国の悪魔崇拝者たちは、ウクライナ人とロシア人を殺すために武器を送っている！”(2024年8月2日)

ブルガリアを拠点とする司祭が英国大使館前で抗議活動を主導。

<https://x.com/i/status/1819055998084255999>



<https://x.com/i/status/1819055998084255999>

⑦ペスコフ大統領府報道官の「平和サミット」観(2024年8月2日)

「次回の平和サミットにロシアが招待されるのではないかという声がある。ご存知のとおり、人々はプロトコルのためにイベントに参加するのではなく、特定の議題について話し合うためにイベントに参加します。ロシアに都合の良い議題はどこにも表明されていなかった」 - ペスコフ。

<https://x.com/i/status/1819261446339056068>



https://x.com/zov_vs_nato/status/1819261446339056068?s=09

⑧ダグラス・マクレガーが警告: 1,000,000 人のロシア兵が、何か大きなことが起こるために秘密裏に動いている(2024年8月2日)

https://youtu.be/bL_pGy6QQ3I



https://www.youtube.com/watch?v=bL_pGy6QQ3I

⑨露資産凍結・没収は国際法違反＝国連報告者(2024年8月2日)

主権国家の資産を凍結したり、没収することは国際法に違反する。国連特別報告者のエレナ・ドブガニ氏(ベラルーシ)が、スプートニクに対し語った。

「残念ながら近年、ベネズエラやアフガニスタン、シリアやロシアなどの中央銀行や国営企業の資産が凍結・転用される傾向がある。免責特権の無効化、テロ支援国家認定、国内選挙の結果の不承認などを理由にしているが、どれも国際法上の根拠はない」

EUは先月、ロシアの凍結資産運用益によるウクライナ支援の第1弾として、15億ユーロ(約2420億円)の活用開始を発表。日本も同様に、33億ドル(約4900億円)を、ウクライナ支援として拠出するため最終調整を進めていると報じられていた。

プーチン露大統領はこれまでに、欧米による露凍結資産活用の試みについて、「盗みはいかなる言い訳をつけても盗みには変わらない」と指摘していた。



<https://sputniknews.jp/20240802/18914527.html>

⑩特別軍事作戦 8月1日の概要 露国防省(2024年8月1日)



ロシア国防省は、特別軍事作戦の進捗状況に関する日報を発表した。スプートニクが最も重要な項目をまとめた。

ウクライナ軍の過去 24 時間の人的損失は最大 1965 人。

ロシア軍は米国製地对空ミサイルシステム「パトリオット」の発射機 3 基とドローン操縦拠点を破壊した。

ロシアの防空システムは過去 24 時間に高機動ロケット砲システム「ハイマース」から発射された 14 発とウクライナのドローン 61 機を撃墜した。

https://sputniknews.jp/20240801/81-18908887.html?rcmd_alg=collaboration2

『安齋育郎のウクライナ戦争論』(発行:2024年7月31日)

増補改訂第 11 版(112 頁、フルカラー、図版満載)

増ページと諸物価値上がりのため、1 冊 350 円

送料:1~7 冊=レターパックライト 370 円

8~10 冊=レターパックプラス 520 円

●ゆうちょ銀行から振り込む場合

【記号】14440 【番号】3883851 【口座名】アンザイクロウ

●銀行から振り込む場合

【店名】四四八(読み:ヨンヨンハチ)

【店番】448 【預金種目】普通預金

【口座番号】0388385 【口座名】アンザイクロウ

①ウクライナでさえ最初は実質 NATO の傭兵であることを隠していたのに日本はハナから NATO 基地ときた。北大西洋でもないのに…(2024年8月1日)

日米両政府は7月28日の日米安全保障協議委員会(2プラス2)の共同文書に、インド太平洋と欧州地域の安全保障の課題が関連していると強調し、日本と北大西洋条約機構(NATO)との多国間協力の拡大を盛り込みました。実際に、NATO加盟国の軍隊が日本で自衛隊との共同訓練を次々と実施するなど、対中国・ロシアを念頭ににしたNATO軍の前方基地化が進んでいます。

インド太平洋地域の国際共同演習「パシフィック・スカイズ24」の一環として、7月19〜26日にかけてドイツ、フランス、スペインの軍用機が来ていない規模(計32機)で日本に飛来し、航空自衛隊と共同訓練

日本、「NATO基地」に



加盟国軍が次々共同訓練

を実施しました。

ドイツ空軍と、日本への展開は今回が初めてとなるスペイン空軍は、北海道の千歳基地に飛来。ドイツから戦闘機ユーロファイター

8機を含む計16機、人員約180名、スペインからもユーロファイター4機を含む計6機、人員約150名が参加。同時に空自のF15戦闘機4機と日独、日独西共同訓練を実施しました。

ドイツ空軍トップのゲルハルト総督は日独共同訓練中の記者会見で、「安全保障で欧州とインド太平洋が不可分だと強く示し、自由で開かれたインド太平洋を確保するものだ」と強調しました。

航空自衛隊などとの共同訓練のため、初飛来したスペイン空軍の戦闘機「ユーロファイター・タイフーン」は7月19日、北海道・空自千歳基地

仏・独・スペインから32機

しんぶん赤旗 2024.8.1

一方、フランス空軍は百里基地(茨城県小美玉市)に展開。超音速で飛行するラファール戦闘機4機を含む10機、人員約260名規模で、空自の第7航空団のF2戦闘機2機と編隊飛行や空中給油訓練を実施しました。

この訓練に続き、8月6日にはイタリア空軍がステルス戦闘機F35Aやユーロファイターを含む計11機で飛来し、空自のF35A戦闘機と三沢基地(青森県)で共同訓練「ライジング・サン24」を行う計画です。

また、英国は25年からインド太平洋地域で日米英共同訓練を定期開催。空母プリンス・オブ・ウェールズが日本に寄港し、事実上の拠点とします。